

海
馬
毛
物



子白

如換よ以夫ハ鞍馬乃真偽正ハ
 谷よ住居ハくお俗よそハ扱も
 苗山よをツそ花見乃より一取及
 以習を裁よりうたうく本末をも
 節ソヤとあふツハ鞍馬乃
 以さハはく人申者よそハあも
 苗山よりをツそ毎季花見能

二一ト二一、三三二二、一、
鞍馬乃山形う流梅を折枝折を
ト一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
志家へもせおくもまよし、
ト一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
は、く末陰は次居、
一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
を、を、を、を、を、を、
あまこお借乃渡里人是にをは
物籍なる者少く人遊をうける
と、
志り、くさ、
と、

は供座敷とす、源平両家の
童形達の各は座人よりやうに
お人ハ能ハ、
又か様より人を入をえ、
尸よ似て人習花を、
清いん、
は、

心ゆくう神の侍もそくそ
 喉あけお借をくはたてふける
早侍
 まさしく 心ゆく 侍の 侍も
侍
 あふふけるもそく 侍の 侍も
 人をあそそ花あそくすおりも
 いふろ世をいそ侍と親疎も成
 心あまらんぬをうそ 侍の 侍も

きくものな浮世はなき鞍馬の
 本守の大少多つ天恵少ふもさ
ウツガ上
 たる人しうな 実や花乃本守
 半日乃お月のまらん乃一葉お友
 う花を人しうな 実や花乃本守
 痛しやをううわて花は流らん
早侍
 思ひよしうきや松虫乃音ようふ

くそぬ 総山 橋を 清福ひ乃ち 歎

きよし 山よ ありとも 大さきり

さう 雲の さまりりり 龍ハ 鳥人

あー 誰かとも さま 家人よせん

言妙乃 松も むりり 龍

うー 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

まも 也 ことの 業 忘れ きた 慈 程の

老を あ 痛うう 垣か の 梅 ねうう

花乃 橋乃 花乃 三 花乃 物 あり

ひと たり 一 葉を かな 終う あり 及

つら さらん さらん さらん さらん さらん

なま 菜乃 かな 終い ま あり して 慈の

海き らん く ち さまよ ころ あり

アム 喉々 の 兎 ころ ころ あり

下、人、及、よ、き、う、さ、う、の、い、ま、へ、ま、よ、
 痛、り、乃、法、す、や、肯、松、花、乃、
 然、と、ひ、て、く、音、と、法、面、と、な、わ、
 集、横、雲、ふ、き、う、受、て、三三下、腸、を、り、と、
 う、や、心、す、く、け、気、さ、也、夕、子、残、す、
 花、の、あ、う、わ、鐘、の、き、う、え、て、よ、う、
 を、う、き、真、の、鞍、馬、乃、山、乃、花、う、

六、心、な、法、志、郎、の、い、ま、を、修、人、也、
 ね、も、は、程、法、修、一、く、見、勢、尸、法、う、
 名、所、能、ある、時、の、雪、去、子、古、旅、形、
 初、操、は、良、也、横、川、乃、を、う、梅、吉、野、
 初、漸、け、か、と、カ勇上、後、を、見、残、け、方、も、
 あ、う、た、ら、う、志、少、々、も、め、る、感
 人、心、ま、一、ま、は、し、め、、我、を、あ、く、ま、め、

公ふは一大をを侍りし馬
上少りきたる一何と志
たわく受た乃唐成れと一今小
張良あ入唐方てをりとと
やすし思ひ一とも書を
取てりし又其は心お乃めくる
上少りきたる一ふと成ハ有

詞

右乃唐を落志也あ今小張良あ
乃書取てりしととと是於安ら
思ひ一々せし一は一大をを
お侍りる上ハと思落たる唐成
を川方流て 昔張良唐成ととと
はくく馬乃上成石公よりと
心とを其法の真儀を

